



## 「ふるさと氷川応援寄附」を活用した取り組みを紹介します

全国の皆さんよりいただきました寄附金は、「ふるさと氷川応援基金」に積み立て、適正に管理・運用を行っています。

平成28年度から平成30年度までに積み立てた寄附金の一部については、令和元年度に行った次の6事業に活用させていただきました。

### ふるさとの生活を豊かにする地場産業の育成に関する事業

#### 創業支援・事業所等整備促進事業(充当額:600,000円)

新たな事業所の開設や、現在の事業所をリフォームするために必要な費用(工事費、機械の購入費など)の一部を助成しました。

### ふるさとの父母兄弟のための福祉、医療及び健康づくりに関する事業

#### 住民健診事業(充当額:300,000円)

生活習慣病の予防と健康維持を目的として、毎年実施している住民健診事業に充当しました。



### ふるさとの次代を担う子どもたちの教育、子育て支援に関する事業

#### すこやか赤ちゃん出産祝金事業(充当額:1,200,000円)

町内に居住する保護者へ、赤ちゃんの誕生を祝い、祝い金を支給しました。



### ふるさとの水や緑の環境保全や景観の維持、再生に関する事業

#### 生ごみ処理機購入助成事業(充当額:300,000円)

ごみ削減の一環として、「生ごみ処理機」の購入費について助成を行いました。  
※町では、ごみ10%削減に取り組んでいます。



### ふるさとの地区コミュニティの支援など地区づくりに関する事業

#### 行政区活動活性化交付金事業(充当額:100,000円)

地域の活性化と住みよいまちづくりを推進するため、全ての地区を対象に助成を行いました。  
※交付金は、地区の運営や、防災・防犯活動に役立てられています。

### その他、町長がふるさとのために必要と認める事業

#### 子ども医療費助成事業(充当額:2,800,000円)

0歳から高校3年生までの子どもの医療費について、全額助成を行いました。  
※令和元年度より、対象を従来の中学校3年生までから高校3年生までに拡充しています。



【お問い合わせ先】 企画財政課 財政係 ☎ 0965-52-5850



# ひかわホットニュース!

ひかわの最新ニュースをお届けします!

## 6/27 第1回子ども人権教室 ワオクラブ活動

文化センターにて第1回子ども人権教室(ワオクラブ)を開催し、町内の小学2年生から4年生まで14人が参加し、紙玉でっぽう・水でっぽうづくりに挑戦しました。

紙玉でっぽうづくりでは、紙玉を筒の入口と出口に押し込み、勢いよく突き出したら「ポーン」と軽やかな音が出ました。

水でっぽうづくりでは、突き棒の先端に布を巻くことと、布の大きさが筒の中に隙間なく入れるのに苦戦していましたが、完成後には、外で水をかけ合って楽しんでいました。



▲上手に作れたよ!

## 7/2 農家さんの大変さを実感!町の特産品もち米の田植え体験

5月28日に種まきをして1か月が経った今回、竜北西部小と竜北東小の5年生、総勢65人で田植えを実施しました。

快晴だったこの日は、田んぼの中に入っただけで「気持ちいい~!」、「楽しい!」など、子どもたちの元気な声が飛び交う中、横一列に並んで作業を開始。慣れない田んぼの中を進むのは難しかったのか、尻もちをつきながらも一生懸命に頑張っている姿が印象的でした。

田植えをした圃場は「道の駅竜北物産館」の裏手にある「ひかわツーリズムクラブ体験農園」です。穂が出る頃には、子どもたち手作りのユニークな力カシがずらりと並びます。



▲JAやつしろ青壮年部による説明



▲大きく育ってね!

## 7/6 第70回社会を明るくする運動

7月は「社会を明るくする運動」~犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ~の強調月間で、再犯防止啓発月間でした。

犯罪や非行の防止と犯罪や非行をした人たちの更生について理解を深め、それぞれの立場において力を合わせ、犯罪や非行のない安全で安心な明るい地域社会を築くために全国的な取り組みです。

氷川町保護司会では、啓発活動として、道の駅竜北の国道3号側に看板を設置や、のぼり旗を役場本庁舎と宮原振興局周辺に設置し、啓発活動を行っています。



▲明るい地域社会を築くために活動します